

質問事項に対する回答書

(工事名)北陸自動車道 米山トンネル補強工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	9月18日	設計図	24/80		ロックボルトがトンネル補強用ではなく法面用になっていると思われませんが、何か理由がありますでしょうか。	設計図書に示すとおり、法面用のロックボルトを用いるものとしてお考え下さい。
2	9月18日	設計図	24/80		頭部処理のベルキャップは覆工面から200mm弱突出しますが、維持管理等に支障はないでしょうか。	設計図書に示すとおり、頭部処理のベルキャップが覆工面から200mm弱突出するものとしてお考え下さい。
3	9月18日	特記仕様書	63~64	24-13	グラウト材が早強セメントモルタルとなっていますが、本設計のロックボルトでは流動性が必要であり最上段の上向きロックボルトではモルタルが孔内に留まりにくく早強性も失われると考えます。	設計図書に示すとおり、早強セメントモルタルを用いるものとしてお考え下さい。
4	9月18日	特記仕様書	63~64	24-13	覆工コンクリート部がコアボーリング削孔となっていますが、クローラードリルでの削孔(削孔径φ50mm)に変更は可能でしょうか。	設計図書に示すとおり、コアボーリング削孔で箱抜きを行うものとしてお考え下さい。